



世田谷コミュニティ財団

事業内容

世田谷コミュニティ財団で行うことが想定される内容です。以下のような「気持ちを届ける」、「仕組みを育てる」、「具体を作る」ための各取り組みについて、優先順位を決めながら進める予定です。すべてを一度には始められませんが、「緊急度の高さ」「波及効果」「組織力強化への効果の高さ」の点から実施すべき事業を決めていきます。

寄付教育の推進

学校教育現場と連携し、寄付教育を推進する。就学期から、お金を「稼ぐ」「貯める」「消費する」ことだけでなく、「作りたい未来のために贈る・投ずる」ことに対するリテラシーを高め、未来世代の新しい価値観を醸成する。

他のコミュニティ財団と協力した ファンドレイジングプログラムの実施

国内で活動する他地域のコミュニティ財団と協力し、「世田谷×〇〇県」のような他地域にもまたがり資金還流が起こせるプログラムをつくり出す。

地元イベントコラボ系 ファンドレイジング

区内に多数存在する地元イベントと連携して、ファンドレイジングと公益活動団体の認知向上に向けた取り組みを行う。

遊休不動産を活用した 地域づくり・事業づくりの支援

遊休不動産や遺贈によって生まれる不動産寄付を活用しながら、地域課題解決に向けた拠点づくりや施設整備、事業者の支援を行う。

気持ちを届ける

災害時に迅速に機能する 寄付プログラムづくり

地震や水害・豪雪被害など、日本社会において災害が発生した場合を念頭に、民間公益活動団体に対して価値ある寄付を迅速に届けられる寄付プログラムを準備する。

民間企業・個人篤志家からの 寄付による冠ファンドの運営

複数分野の民間企業と包括提携を結び、資金提供を受けながら、地域の公益活動団体を支援する。個人篤志家からの寄付を受け入れ、篤志家の方の志とより良い社会課題解決を繋げる。

具体を作る

事業性向上に向けた 支援基盤の強化

事業性向上に向けた支援基盤を強化する。特に金融機関・公的産業支援組織・民間企業などの他組織との連携による課題解決を進める。

特定テーマに関連する ファンドレイジング支援

スポーツ×チャリティ（区内のスポーツ団体やスポーツ系施設とコラボレーションした取組）、あるいはアート×チャリティ（エイブルアートや芸術家支援と連動させた取組）など、テーマに紐づいたファンドレイジング支援と、社会課題の認知向上を目指す。

公益活動団体と協力した、 寄付付き商品の販売

民間の公益活動団体と協力し、寄付付き商品の市場を創出する。

金融機関と協力したソーシャル ビジネス支援のプログラム

複数の金融機関と共に、金融商品を設計する。これによって、事業型の民間公益活動団体の資金調達手段を多様化させると共に、金融機関のソーシャルセクター・地域事業への資金還流を促進する。

しくみをそだてる

プロボノコミュニティの維持拡大

プロボノコミュニティを拡大させ、スキルを活かした社会参加の機会を圧倒的に増やす。1000人程度が毎年コミュニティ財団を通じて区内の公益団体で活動することを目指す。

休眠預金を活用した 助成および社会的投資の推進

毎年一定量の休眠預金を受け入れ、定常的な助成・融資・投資を行うことで、区内団体の中間層〜トップ層の基盤強化を支える。社会的インパクト評価も実現する。

遺贈寄付の促進・ 土業ネットワークづくり

区内の公益活動団体を支援する。またそれに関連して弁護士・税理士・公認会計士などのネットワークづくりを行う。

社会的インパクト評価の区内での 一般化・成果志向の文化醸成

助成・融資・投資を通じて社会的インパクト評価を一般化させ、自らの社会的価値や成果を寄付者・支援者に提示できる足腰の強い公益活動団体を増やす。

